

RYOBI

2014年3月期
決算資料(詳細)

リョービ株式会社

2014年5月

1

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

2

目次

I . 2014年3月期 連結業績概要

II . 2015年3月期 連結業績予想

III . 事業別の状況

3

I . 2014年3月期 連結業績概要

4

業績の概要

増収・増益

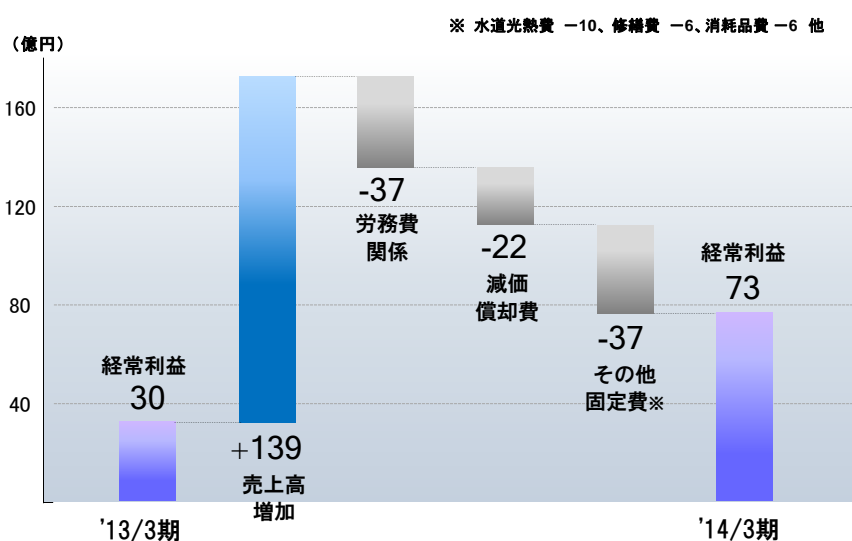
売上高は4期連続の増収、利益は3期ぶりの増益

単位:億円

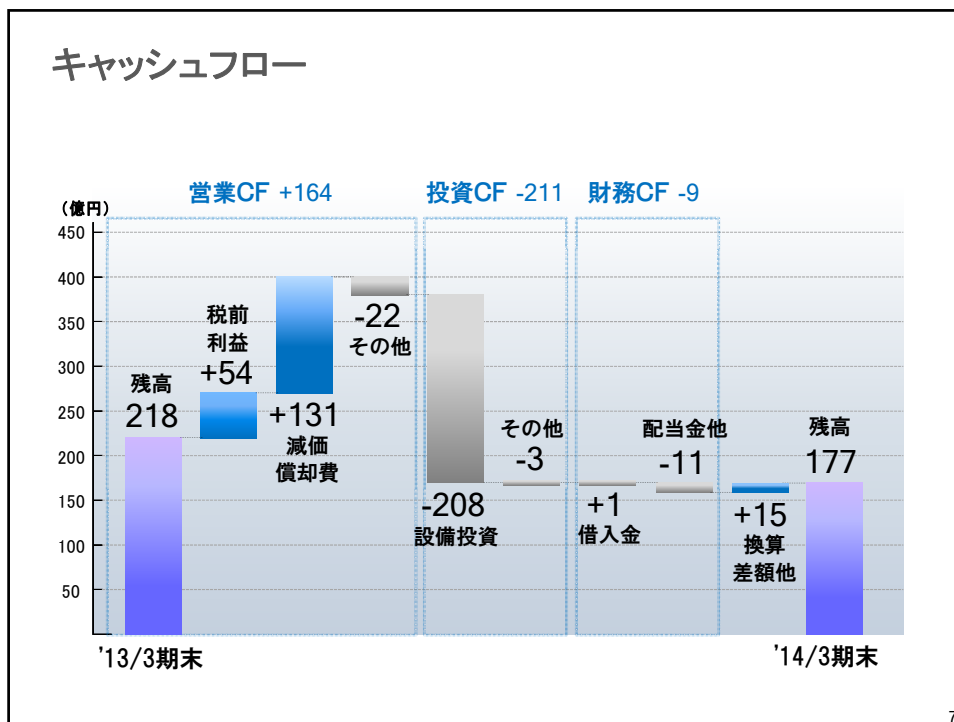
	'12/3期		'13/3期		'14/3期		前期比	
	(利益率%)	実績	(利益率%)	実績①	(利益率%)	実績②	②-①	増減率%
売上高		1,656		1,666		1,997	+331	<+19.9
営業利益	(4.7)	77	(2.0)	33	(3.8)	77	+44	<+131.8
経常利益	(4.2)	70	(1.8)	30	(3.6)	73	+43	<+143.7
当期純利益	(2.5)	42	(1.2)	20	(2.1)	41	+21	<+105.6
	'12/3期末		'13/3期末		'14/3期末		前期末比	
		実績		実績①		実績②	②-①	増減率%
総資産		1,877		2,147		2,450	+303	<+14.1
自己資本		733		785		916	+131	<+16.7
有利子負債		575		791		854	+63	<+7.9

5

経常利益増減要因



6



7

事業別の業績

単位:億円

	'12/3期 (構成比率%) 実績	'13/3期 (構成比率%) 実績①	'14/3期 (構成比率%) 実績②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(74.5) 1,234	(76.0) 1,267	(77.4) 1,545	+278 <+22.0>
住建機器	(14.9) 247	(14.6) 243	(13.0) 260	+17 <+6.8>
印刷機器	(10.6) 175	(9.4) 156	(9.5) 190	+34 <+22.1>
営業利益	(利益率%)	(利益率%)	(利益率%)	
ダイカスト	(4.9) 61	(1.8) 22	(4.0) 63	+40 <+178.8>
住建機器	(9.5) 23	(7.3) 18	(4.3) 11	-7 <-37.9>
印刷機器	(-) -7	(-) -7	(1.6) 3	+10 <->

8

事業別営業利益の増減の要因 (前期比)

ダイカスト事業 (+40億円)

好調な自動車産業を背景に、アジアでの生産拡大に加えて、北米での堅調な受注、欧州や国内での受注の回復により増益。

住建機器事業 (-7億円)

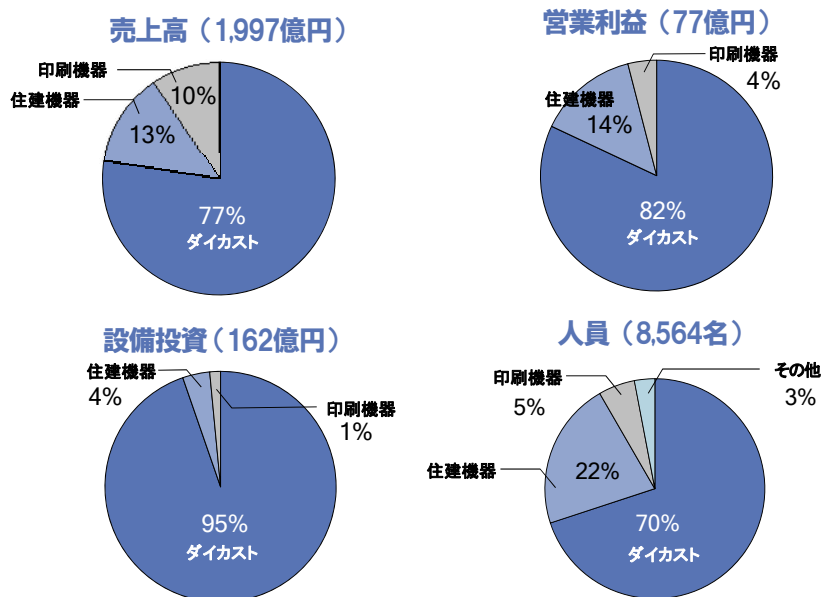
主にアジア向け売上高の増加に加えて、米州向けや国内販売も増加したため増収。しかし、売上高原価率の上昇や販売競争が厳しさを増していることから減益。

印刷機器事業 (+10億円)

円安による輸出環境の改善により中国をはじめアジア向けが大幅に増加し、国内販売も増えたことから増収となり、5期ぶりに黒字化。

9

事業別構成比 ('14/3期)



10

Ⅱ. 2015年3月期 連結業績予想

11

経営環境

今後のわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動や増税による影響を受けつつも、その影響は次第に薄れて持ち直しの動きが広がり、緩やかに回復していくことが期待される。また、海外も緩やかな回復が続くことが期待されるものの、米国の金融緩和縮小や新興国経済の減速など世界経済に及ぼす影響が懸念される。

12

業績予想

増収・増益

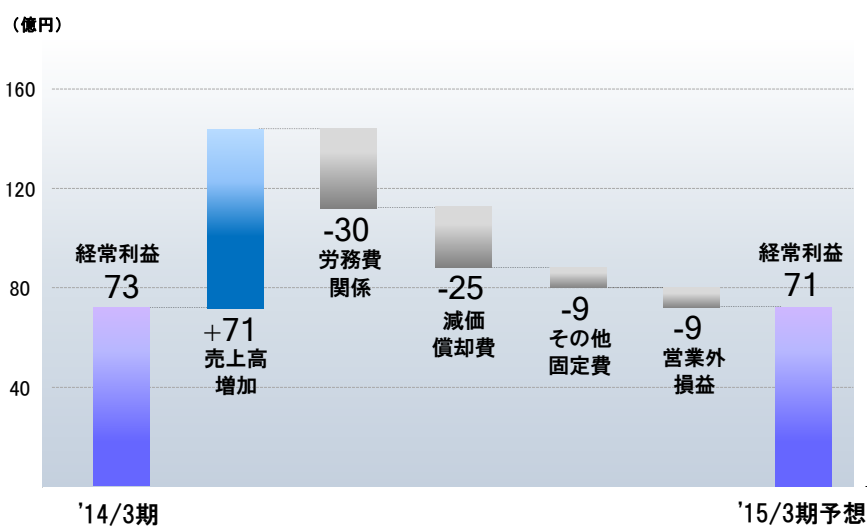
売上高は5期連続の増収、営業利益は増益、
経常利益、当期純利益は減益

単位:億円

	'13/3期	'14/3期	'15/3期	前期比	
	(利益率%) 実績	(利益率%) 実績①	予想②	②-①	増減率%
売上高	1,666	1,997	2,200	+203	<+10.2
営業利益	(2.0) 33	(3.8) 77	(3.8) 84	+ 7	<+9.6
経常利益	(1.8) 30	(3.6) 73	(3.2) 71	- 2	<-2.3
当期純利益	(1.2) 20	(2.1) 41	(1.6) 36	- 5	<-12.9

13

経常利益増減要因('14/3期比)



14

為替レート

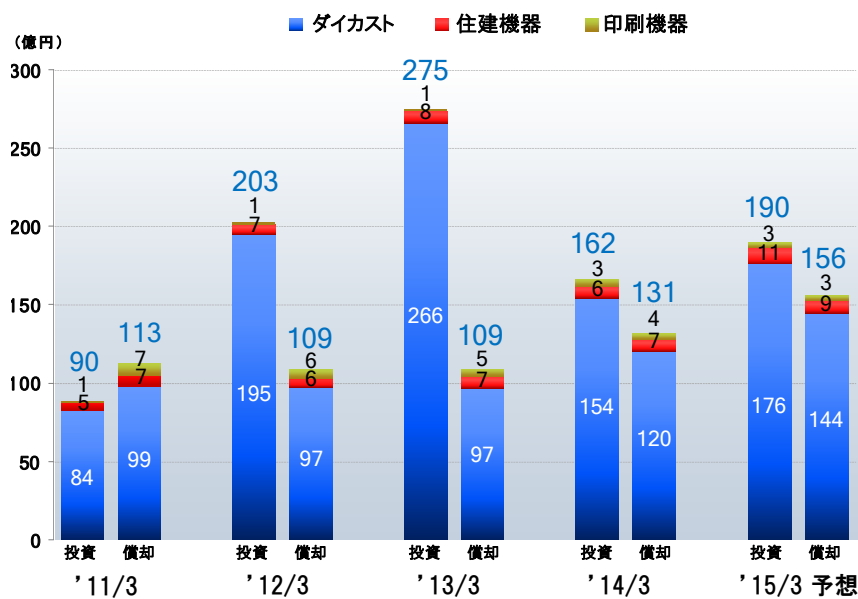
	'14/3期	輸出入レート	'15/3期 想定レート
		※換算レート	
US \$		100円	100円
		97円	(+60百万円)
EUR		133円	140円
		—	(±0百万円)
Stg £		158円	170円
		151円	(+10百万円)
CNY		16.3円	17.0円
		15.7円	(-70百万円)

()内は1%円安に変動した場合の年間の営業利益影響額。

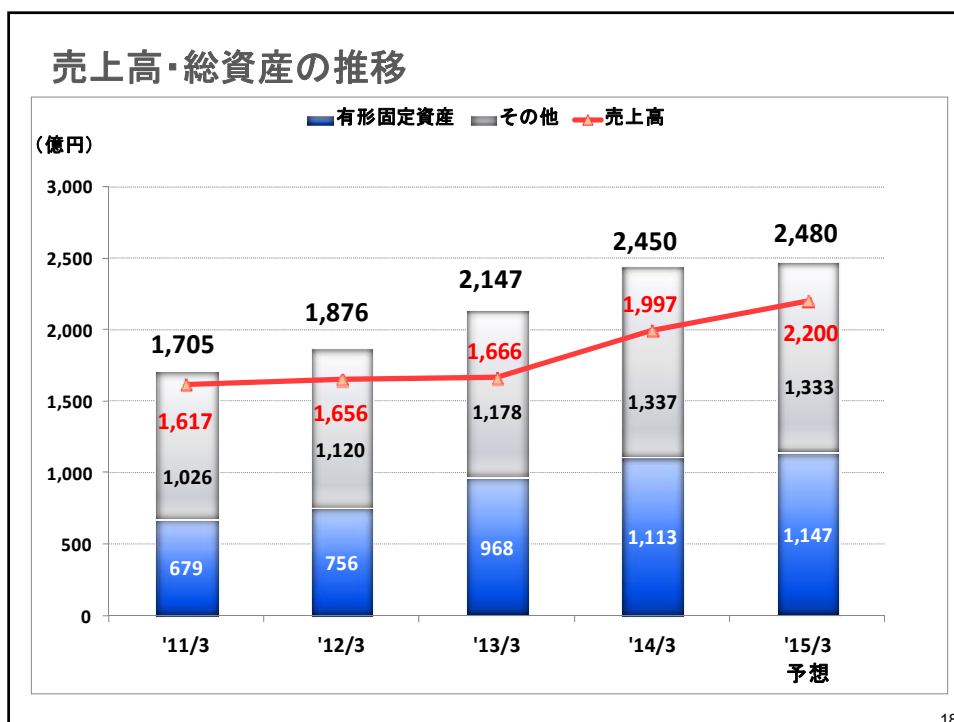
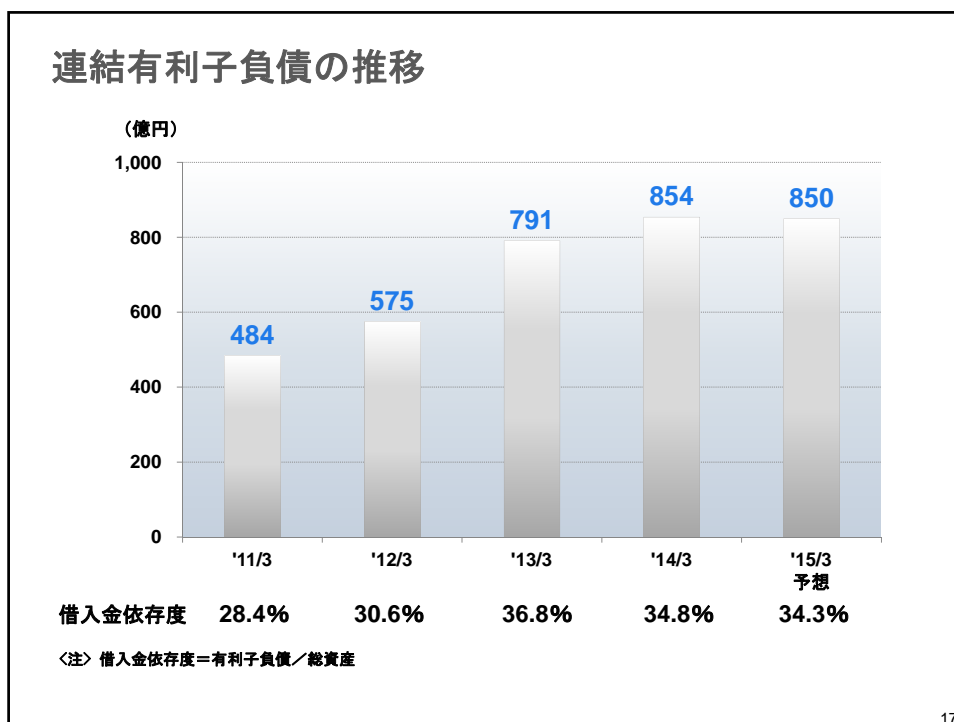
※海外子会社財務諸表換算レート

15

設備投資・減価償却費の推移



16



Ⅲ. 事業別の状況

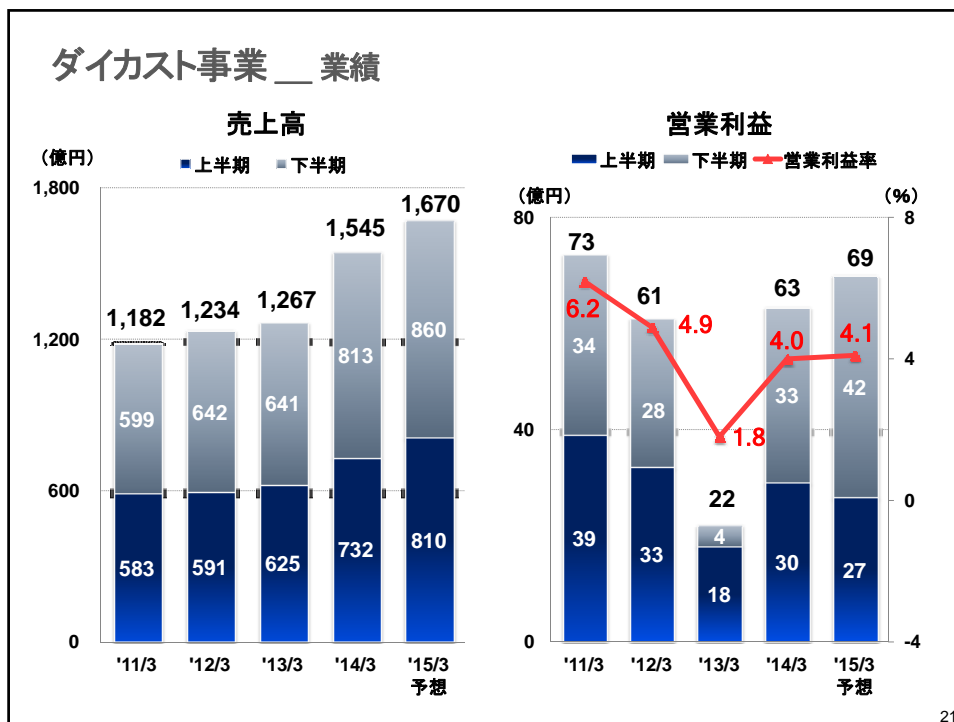
19

事業別の業績

単位:億円

	'13/3期 (構成比率%) 実績	'14/3期 (構成比率%) 実績①	'15/3期 (構成比率%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>	
売上高					
ダイカスト	(76.0) 1,267	(77.4) 1,545	(75.9) 1,670	+125	<+8.1>
住建機器	(14.6) 243	(13.0) 260	(11.8) 260	+ 0	<+0.2>
印刷機器	(9.4) 156	(9.5) 190	(12.3) 270	+80	<+41.9>
営業利益	(利益率%)	(利益率%)	(利益率%)		
ダイカスト	(1.8) 22	(4.0) 63	(4.1) 69	+ 7	<+10.4>
住建機器	(7.3) 18	(4.3) 11	(1.9) 5	- 6	<-54.7>
印刷機器	(-) - 7	(1.6) 3	(3.7) 10	+ 7	<+227.5>

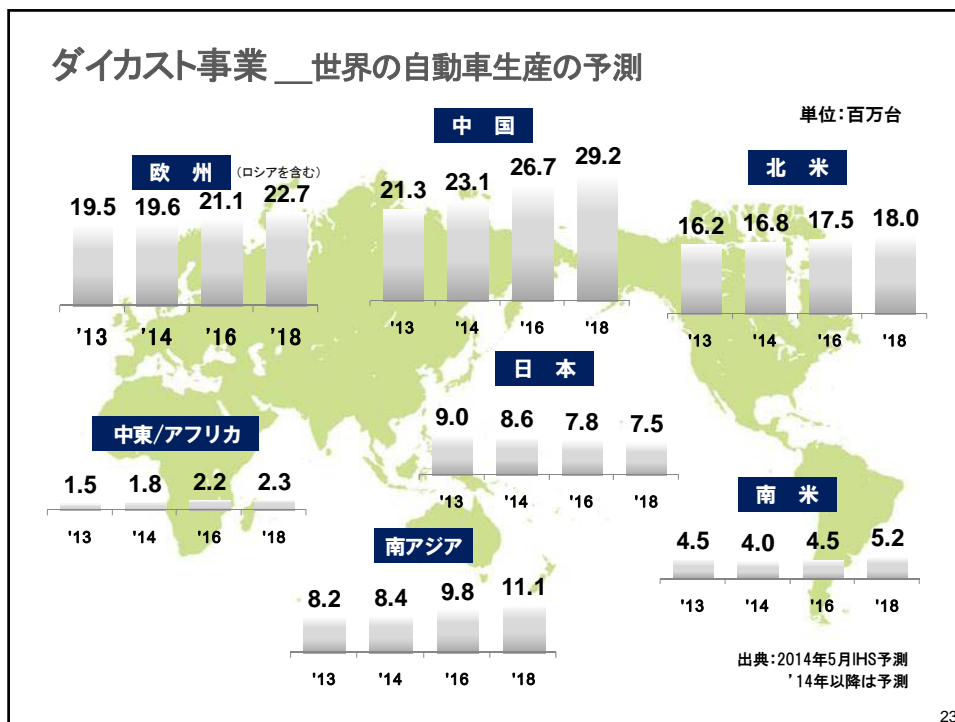
20



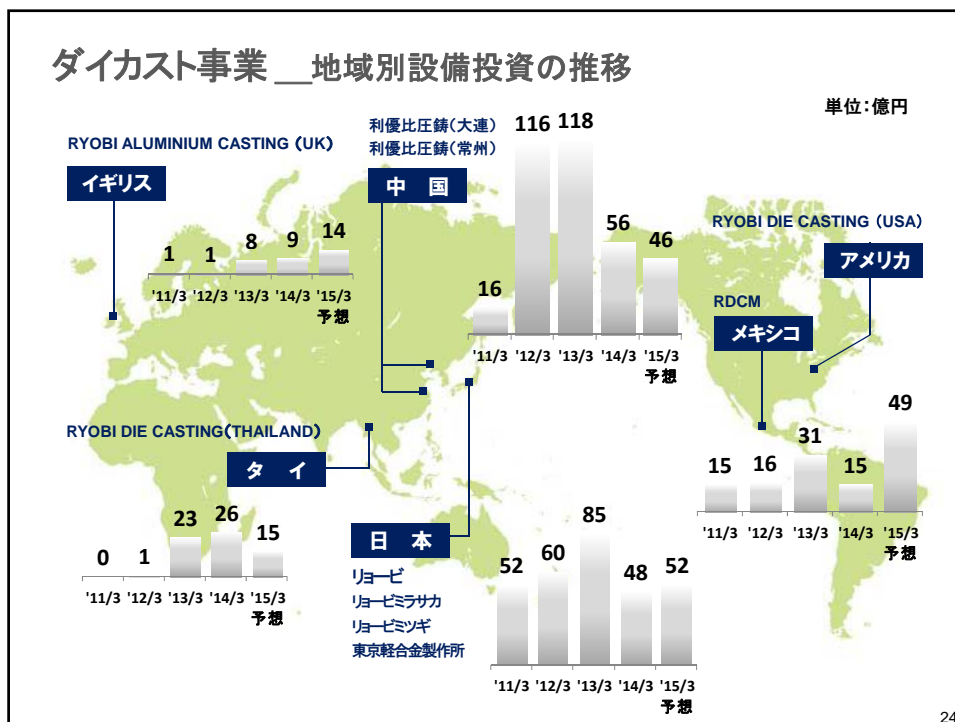
ダイカスト事業 __ 方向性

方向性	有望市場への資源配分と収益性改善により '17/3期に営業利益90億円を達成し、 営業キャッシュフローの増大に貢献する。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> • 新規品受注活動の強化 • 技術開発力の強化 (高強度・軽量化部品の開発、アルミ化の推進) • 生産効率の向上 • 生産設備の効率的な配置と活用

22



23



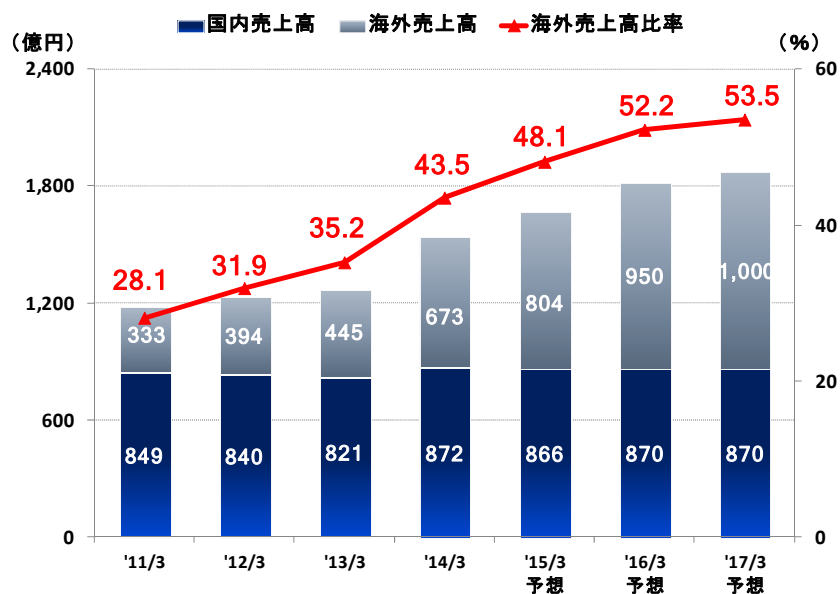
24

ダイカスト事業 __ 地域別事業展開の方向性

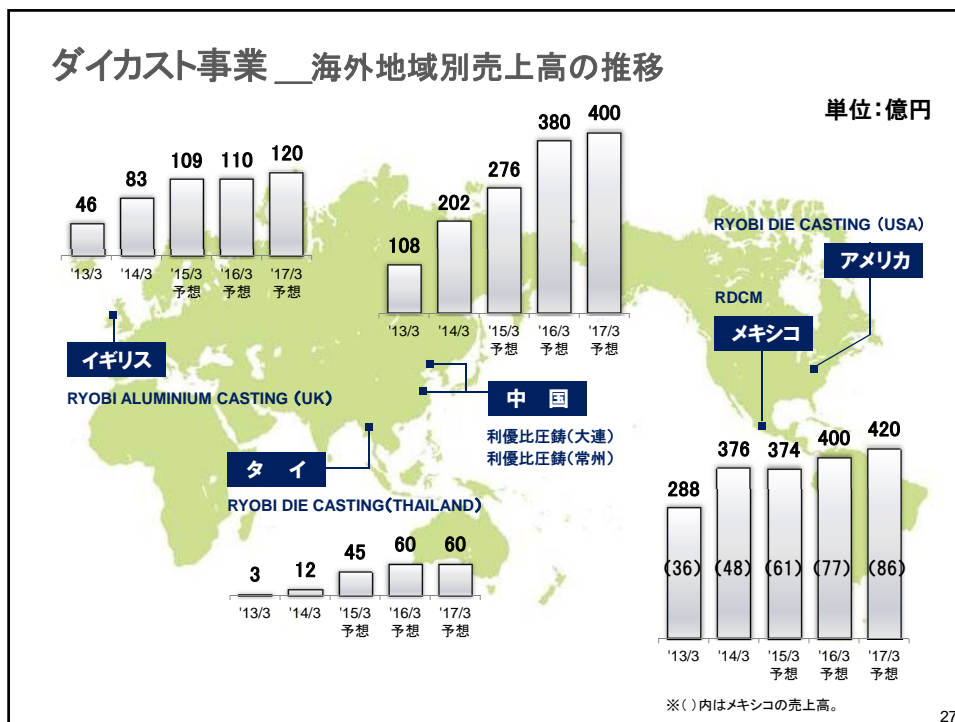
		'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期
日本	・技術開発拠点 ・金型製作の中心拠点 ・海外サポート拠点	新金型工場完成 (26億円)	4月 量産開始。生産能力が2倍に			
北米	・米州での製造拠点 売上高の拡大と収益性の向上。	アメリカ		新規品受注を拡大		
		メキシコ	生産設備増強 (29億円)	増強設備の量産開始		
欧州	・欧州での製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。 収益性の向上。			新規品受注による増産		
中国	・中国での製造拠点 増産対応の強化。 新規品の確実な立ち上げ。	大連 総投資額 270億円	第2工場完成 10月 量産開始	生産が本格化		
		常州 総投資額 180億円	工場完成 11月 量産開始	生産が本格化		
東南アジア (タイ)	・東南アジアでの製造拠点 新規品の確実な立ち上げ。	工場完成 総投資額 75億円	6月 量産開始	生産が本格化		

25

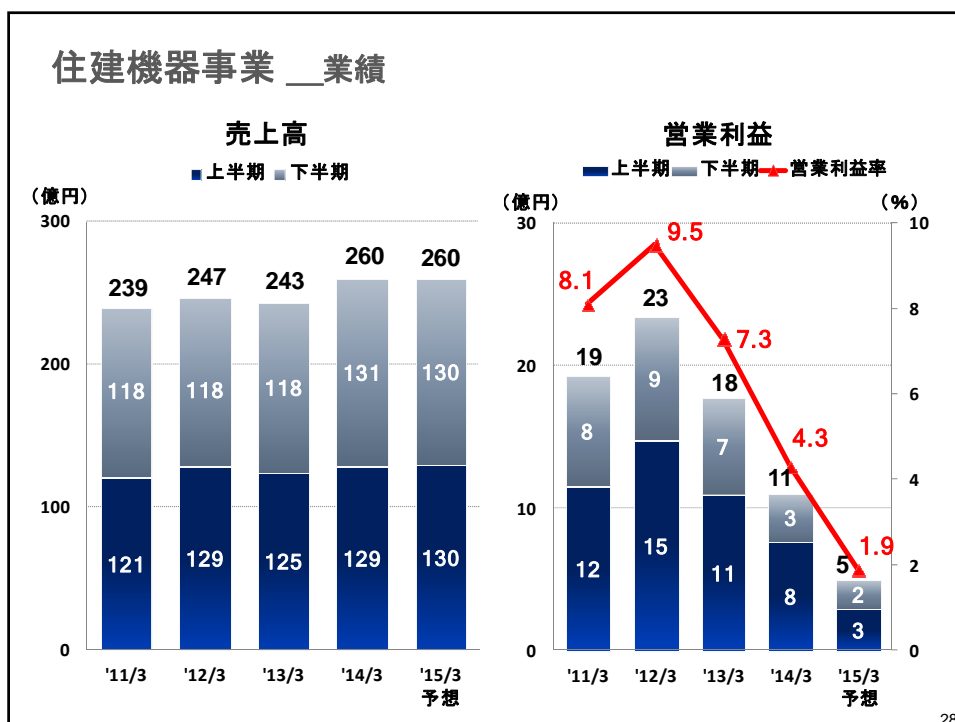
ダイカスト事業 __ 国内・海外売上高の推移



26



27



28

住建機器事業__方向性

パワーツール

方向性	ユーザー（顧客）の期待を超える商品およびサービスを提供することにより、市場の信頼を築く。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> • 商品力の強化 （ユーザーの声を反映した商品企画・開発、海外大手ホームセンター向け供給商品の拡大） • 国内・海外販売力の強化（中国内販など） • 製造力の強化（コストダウン、生産性改善）

29

住建機器事業__商品開発

■プロ用ツール

電子丸ノコ
W-663ED



当社独自のトータルバランス設計

ハンドルが重心に近いから、バランスが良い。

ハンドルがノコ刃に近いから、安定して切れる。



30

住建機器事業__方向性

建築用品

方向性	市場ニーズに沿った商品およびサービスを提供する。
戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品力の強化 (機能性・意匠性の高い商品および新規商材の開発) ・ 生産性・サービスの向上 (物流改善など) ・ 製造力の強化 (コストダウン、生産性改善)

31

住建機器事業__商品開発

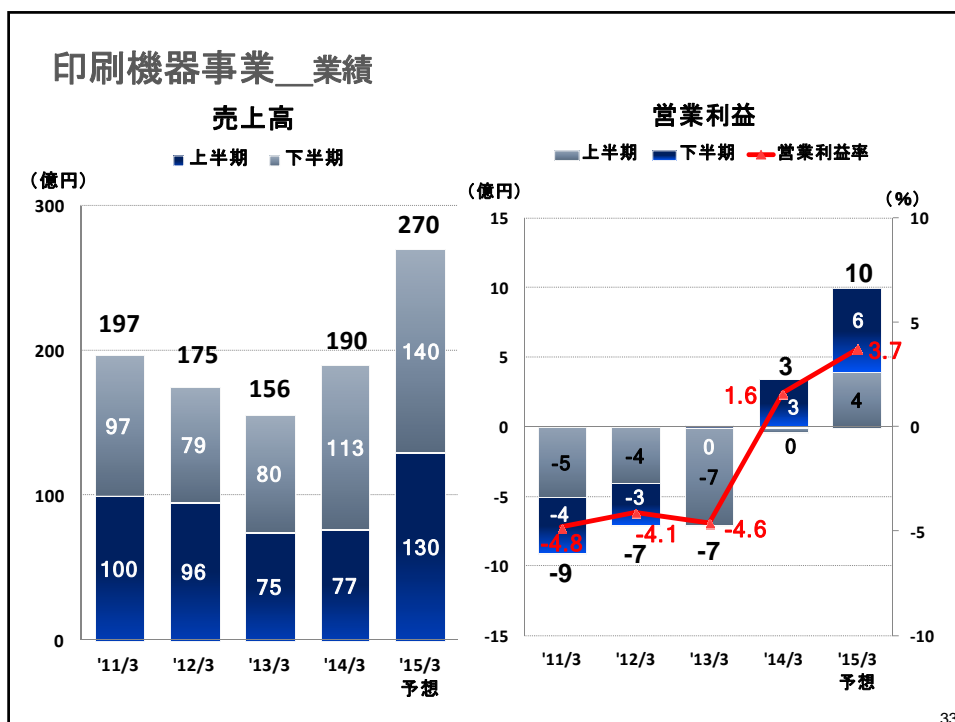
防火ドア用自閉装置 オートスイングヒンジ FRシリーズ



- ・ 耐温度性能を向上。
- ・ 閉鎖力見直しによる適用ドアサイズの拡大。
- ・ 機種共用化で中間在庫の削減に寄与。



32

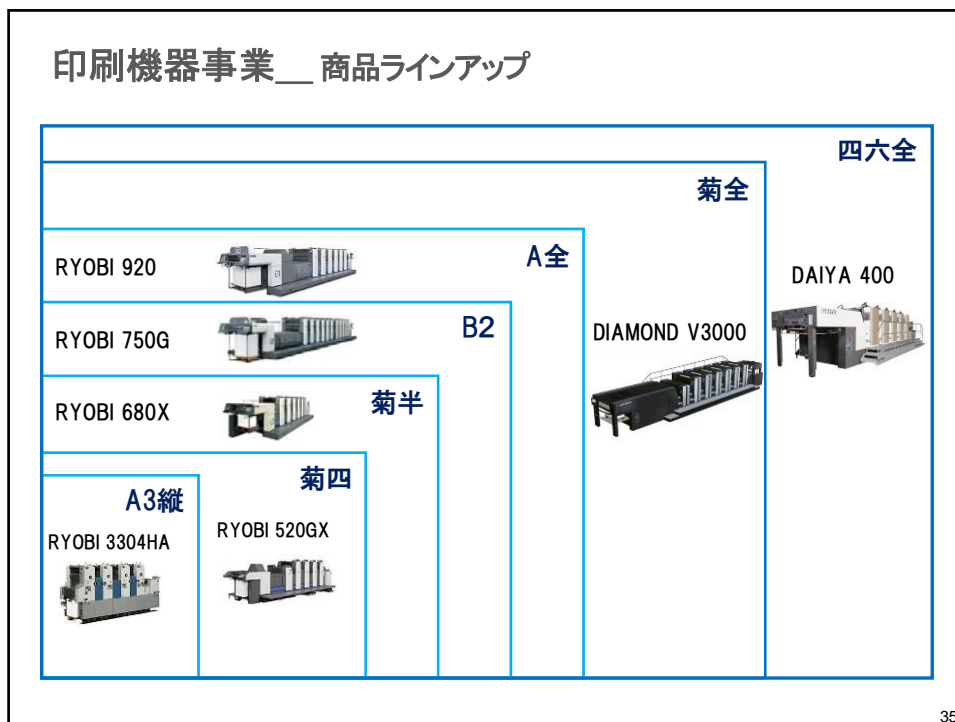


33

印刷機器事業__方向性

方向性	経営管理体制を確立、強化し、 合併の期待効果を実現する。 (経常利益15億円を達成する)
戦略	<ul style="list-style-type: none"> • 商品ラインアップの拡充 • 開発力の強化 (高品質・低コストの活用) • 製造力の強化 (サプライヤー拡充、生産ノウハウ共有化で 生産能力拡大とコストダウン) • 販売力、サービス力の強化 (拡充した顧客基盤を最大限に活かして売上高拡大)

34



企業理念

**技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。**

36